

国際事業化研究センター研究者支援プロジェクト「海外からの講演者招へい助成事業」

## Dr. Ville Leinonen を招聘し Research Meeting および学術講演会

山形大学医学部第三内科 加藤丈夫

Dr. Ville Leinonen (ヴィレ レイノネン) は、フィンランドのクオピオ大学病院の脳神経外科の准教授 (Associate Professor, Department of Neurosurgery, Kuopio University Hospital) です。専門領域は正常圧水頭症の臨床および基礎的研究です。正常圧水頭症は認知症・歩行障害・尿失禁をきたす疾患で、これまで孤発性 (遺伝病ではない) と考えられていました。しかし 2011 年、私達のグループは世界で初めて遺伝性 (常染色体優性遺伝) に発症する大家系 (Yamagata family) を発見し報告をしました (Takahashi Y, Kawanami T, Nagasawa H, Iseki C, Hanyu H, Kato T: Familial normal pressure hydrocephalus (NPH) with an autosomal-dominant inheritance: a novel subgroup of NPH. *J Neurol Sci.* 2011;308:149-151)。

この発見を契機に、Dr. Ville Leinonen のグループは、フィンランド全域の調査を行い、家族内に複数の患者がいる家系を 38 家系見つけ、国際学会で発表しました。一方、私達のグループも国内に 8 家系、国外に 2 家系 (ギリシャに 1 家系、台湾に 1 家系) を確認し、DNA を収集し、国際共同研究を行っています。今回、フィンランドの家系の遺伝子解析のための国際共同研究を構築するため、3 月 19 日に来日しました。3 月 21 日に山形大学医学部で Research Meeting (図 1) を行い、共同研究することに合意しました。22 日には学術講演会 (図 2) を開催しました。講演のタイトルは「**Treatable dementia: normal pressure hydrocephalus--- its epidemiology and pathogenesis.**」で、彼らがフィンランドで行ってきた正常圧水頭症の研究を紹介していただきました。講演時間は 60 分。参加人数は約 20 人。6 名の参加者から質問があり、活発な討論が行われました。



図 1 : Research Meeting



図 2 : Dr. Ville Leinonen の講演